

南紀白浜コミュニティ放送株式会社
令和3年10月期 番組審議会の報告

放送事業者は、放送番組の適正化を図るために定期的に番組を審議する番組審議会を行うことが、「放送法」で定められています。FM ピーチステーションでも、白浜町在住の9名の委員によって委員会を開催しています。令和3年10月26日に開催されました番組審議会の内容の一部をご報告します。

事務局：公私お忙しい中、出席を賜り誠に有難うございます。定時になりましたので開催させていただきます。本日視聴頂く番組は、「ひきがわ魅力☆再発見」です。お昼の生放送「We Love 南紀白浜！」木曜日放送内にて月に2度行っているコーナーで、日置川町商工会加盟の店舗や企業の方、職員にご出演いただき、イベント情報や歴史などを伺いながら、改めて南紀日置川の魅力を再発見しようというコーナーです。

委員長：各委員からのご意見や感想をお願いします。

委員：日置地区の良さが伝わるいいコーナーである。10分間ではもったいないくらいだと思う。

委員：町内の魅力を広めるいいコーナーだなと思った。今後もどんどん色々な発見をさせてほしい。旧白浜町の魅力も再発見させてほしい。

委員：父が備長炭を焼いていた。家の手伝いで小学生の頃に炭を背負って運んでいたことなどを思い出して聴いていて泣きそうになった。

委員：10分にぎゅっと詰め込んで話が聴けてとてもいいコーナーだと思った。身近にこんな人いるのかとまさに再発見できた。

委員：コーナータイトルが秀逸で、印象付けをしようとする努力が伺える。専門的なことはそれぞれが興味を持って聴く人は少ないかもしれないが、ひとつひとつ積み重ねていくと最終的には多くの方が聴くことになると思う。専門的な人の豊富な知識をパーソナリティがよく引き出せている。

委員：聴き手によって番組の面白さが決まると思う。

委員：レポーターの力が大きいですね。知らない分野の話も聞き入ってしまった。

事務局：ご審議有難うございました。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。